

CBDCフォーラムの運営について

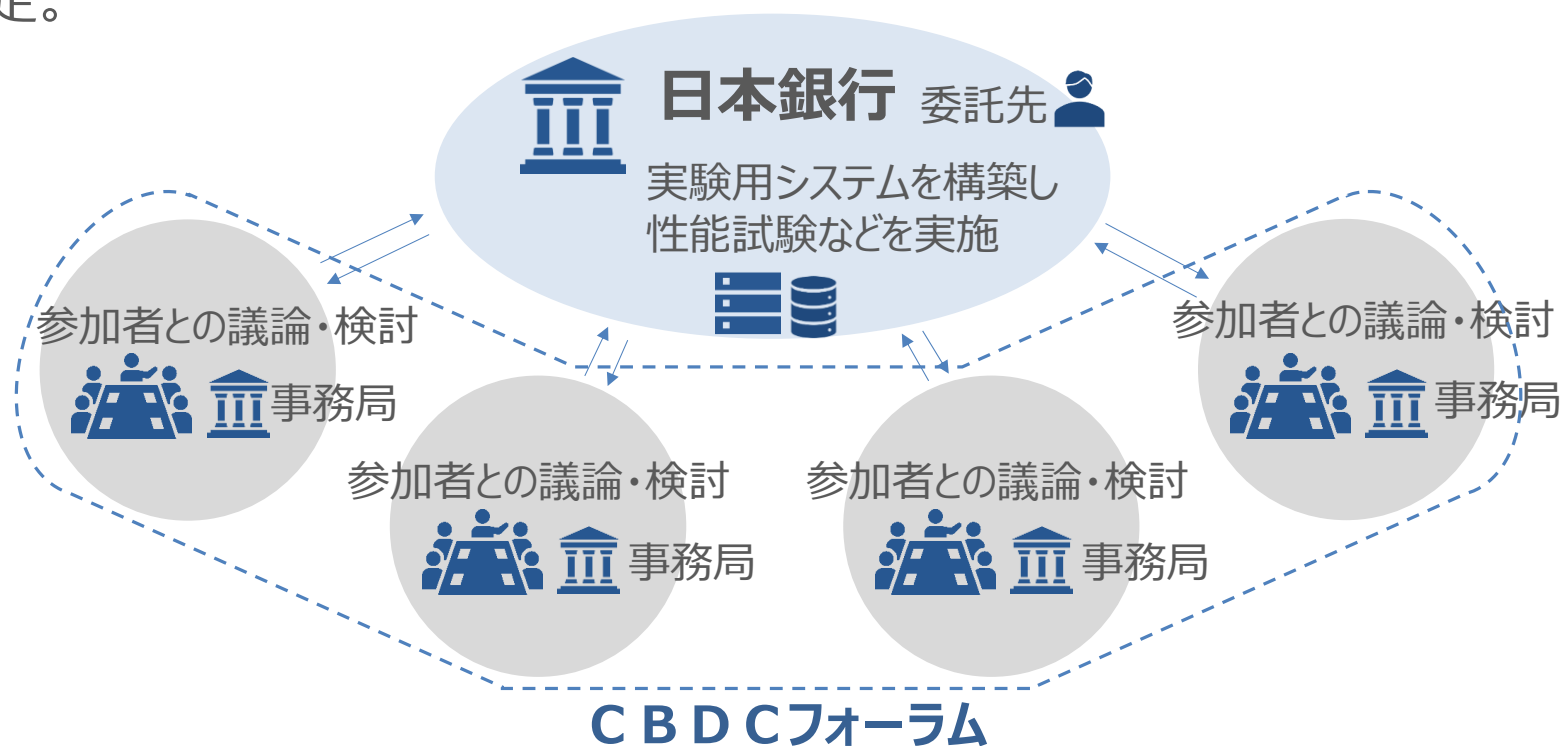
2023年7月

日本銀行 決済機構局



1. パイロット実験の全体像

- パイロット実験では、①エンドツーエンドでの処理フローの確認等のため、**本行が実験用システムを構築し、性能試験等**を行う（**実験用システムの構築と検証**）とともに、②CBDCの制度設計を適切に進める観点から「**CBDCフォーラム**」を設置し、**リテール決済に関わる民間事業者の参加**を得ながら、**幅広いテーマを議論・検討**することとしている。
- ①・②の検討成果は、必要に応じてお互いの作業にフィードバックすることを想定。



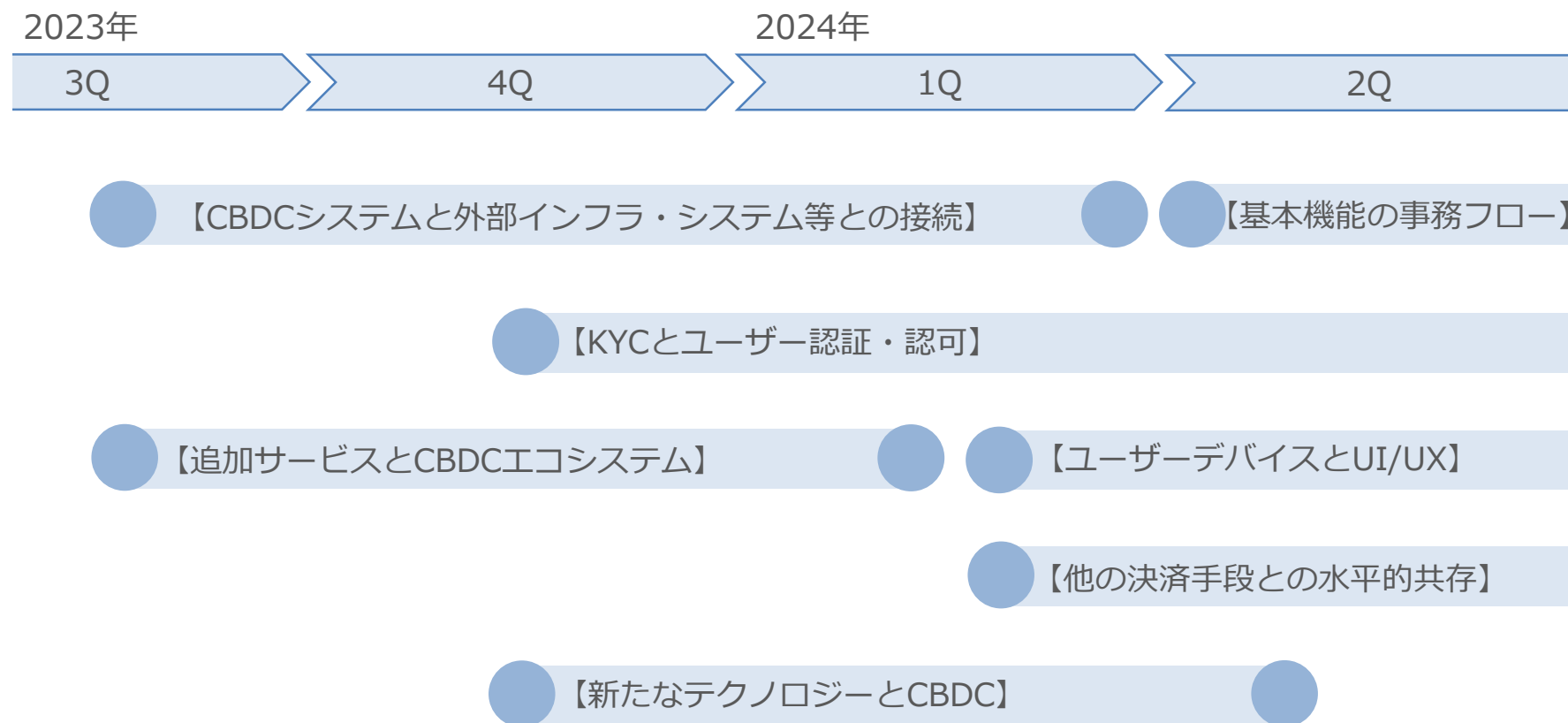
2. CBDCフォーラム参加者一覧

株式会社イオン銀行	ソラミツ株式会社	東日本旅客鉄道株式会社	株式会社りそなホールディングス
株式会社インフキュリオン	大日本印刷株式会社	株式会社日立ソリューションズ	株式会社ローソン
チャンネルペイメントサービス株式会社	大和証券株式会社	日立チャネルソリューションズ株式会社	auペイメント株式会社
コインチェック株式会社	株式会社大和総研	フェリカネットワークス株式会社	BIPROGY株式会社
株式会社ことら	株式会社千葉銀行	株式会社ふくおかフィナンシャルグループ	株式会社BOOSTRY
株式会社ジェーシービー	東京海上日動火災保険株式会社	株式会社マネーフォワード	株式会社Datachain
株式会社静岡銀行	トヨタファイナンシャルサービス株式会社	株式会社みずほ銀行	株式会社JPX総研
株式会社常陽銀行	株式会社トレードワルツ	三井住友海上火災保険株式会社	NRIセキュアテクノロジーズ株式会社
一般社団法人しんきん共同センター	ナッジ株式会社	株式会社三井住友銀行	株式会社NTTデータ フィナンシャルテクノロジー
株式会社しんきん情報システムセンター	株式会社日本証券クリアリング機構	三井住友信託銀行株式会社	株式会社NTTドコモ
セコム株式会社	日本電気株式会社	株式会社三菱UFJ銀行	PayPay株式会社
株式会社セブン銀行	日本マイクロソフト株式会社	株式会社メルペイ	SBI R3 Japan株式会社
一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク	野村證券株式会社	株式会社ゆうちょ銀行	株式会社Startale Labs Japan
ソニー株式会社	株式会社野村総合研究所	株式会社横浜銀行	TIS株式会社
ソフトバンク株式会社	パナソニック コネクト株式会社	楽天ペイメント株式会社	TOPPANエッジ株式会社

3. CBDCフォーラムの運営：ワーキンググループの組成と進め方

- **CBDCフォーラム**の運営にあたっては、議論の活性化や運営の円滑化の観点から、**複数のワーキンググループ**を設置。
- ワーキンググループや議論・検討テーマについては、内外の情勢や議論の進捗に応じて、随時変更や見直しを行う。

▽ ワーキンググループの進め方イメージ（名称・内容・時期とも暫定案）



4. CBDCフォーラムの運営：3Q発足予定のワーキンググループ

名称	[WG1] CBDCシステムと外部インフラ・システム等との接続
趣旨・概要	<ul style="list-style-type: none">・ 既存外部サービスとの接続方式および各種事務運行を整理したうえで、CBDCシステムとの間で取りうる接続方式について、将来性を含め、理解を深める。・ CBDCシステムと仲介機関の接続に伴う、技術面や運用面の留意点について理解を深める。
検討テーマの例	<ul style="list-style-type: none">● 勘定系システムとの接続<ul style="list-style-type: none">・ CBDC払出・受入業務を想定し、金融機関の勘定系システム（このほか、データウェアハウス等の情報系システムや営業店システム等の事務系システムを含む）とCBDCシステムとを接続する際の、留意事項の洗い出し（運用面、技術面、接続仕様に関する留意事項等）、解決策の検討。● インターネットバンキングアプリ等との連携<ul style="list-style-type: none">・ 金融機関のインターネットバンキングアプリ等を通じてCBDCの取引（払出・受入、送金、残高照会等）を可能とする場合の、既存システムとCBDCシステムとの連携にかかる留意事項の洗い出し（運用面、技術面、接続仕様に関する留意事項等）、解決策の検討。

4. CBDCフォーラムの運営：3Q発足予定のワーキンググループ

名称	[WG2] 追加サービスとCBDCエコシステム
趣旨・概要	<ul style="list-style-type: none">• CBDCの追加サービスについて概念整理や類型化を試みるとともに、CBDCシステムを「追加サービスの提供基盤」として位置づけたときに、備えることが望まれる技術的な特性や性能について検討。• CBDCのエコシステムが持続可能な形で発展するために、どのような工夫が求められるかを検討。
検討テーマの例	<ul style="list-style-type: none">●CBDCのビジネス活用（追加サービスのあり方）<ul style="list-style-type: none">• 「デジタル社会にふさわしい」決済システムのコンセプトの具体化。• 追加サービスの類型とユースケース（プログラマビリティ、追加サービスにかかる情報の利活用に関する議論を含む）、役割分担等。●追加サービスにかかるCBDCシステムの外部連携<ul style="list-style-type: none">• 追加サービスにかかるオープンAPI、SDK・サンドボックス機能の提供、「組み込み型（embedded）CBDC」のコンセプト等。●CBDCエコシステムのデザイン<ul style="list-style-type: none">• サービス基盤としてのCBDCに求められる仕様、追加サービス提供事業者（ディベロッパー）のコミュニティ運営、エコシステムのサステナビリティ（APIのアップデートやメンテナンスなど）等。

5. CBDCフォーラムの運営：留意点

- **CBDCフォーラムにおける議論・検討の概要**については、どの参加者の方のご意見、ご発言かが特定されないように配慮しつつ、**適宜のタイミングで公表**していく。
- 情報共有をしっかりと行うことから、フォーラムに参加するか否かは、**将来の中央銀行デジタル通貨に関連する案件への立場や関与の有利・不利に繋がるものではない**。
- また、ワーキンググループの名称や検討対象は、将来の制度設計に関して何等かの確定的な前提を置いていることを意味しない。

以 上